

(4) 主要果実の入荷と価格の見通し

仙台市中央卸売市場
(電話) 232-8122

【概要】

国内果実は原料などの資材高騰の中、円安による物価高もあり遠隔地の輸送事情の影響も大きく入荷量が減少傾向にあります。春先の低温や台風の影響を受けた品目も多く9月～11月に気温が高かったこともあり、生育状況や着色に遅れなどが発生し出荷が遅れ気味になっています。輸入果実についても円安の影響を大きく受けて価格は前年より全体的に高くなっている状況です。入荷はバナナ・キウイについては順調な入荷が見込まれますが、オレンジなどの柑橘類がやや入荷不足気味でこの状況は年明けも続くことが予想されます。

【品目別】

ミカン	熊本産は裏年傾向と台風の影響などもあり数量3割減の見込み、12月下旬まで入荷予定です。長崎産は裏年傾向と台風の影響などもあり数量2割減の見込み1月下旬まで入荷予定です。和歌山産は前年よりやや入荷多い見込みで中心サイズはMからLで1月上旬まで入荷予定です。愛媛産は前年並みの入荷見込みで価格については前年よりやや高目になります。静岡産は青島が12月中旬から出荷開始。前年よりやや多い入荷が予想されます。
リンゴ	青森産は大玉傾向で前年並みの入荷が見込まれます。価格は前年よりやや高目になります。岩手産は大玉傾向で順調な入荷が予想されます。12月中旬から品種「はるか」も入荷開始、価格は前年並みになります。
柿	奈良産の品種「富有柿」が12月上旬ごろまで入荷する見込みで、中心は2LからLサイズになる見込みです。冷蔵物が12月中旬に出荷スタートします。干し柿は宮城産が12月20日から開始、変形果が約5割あり作業効率が悪くなることで前年より数量が減少する見込みです。福島県産も同様の動きです。
バナナ	フィリピン産中心の入荷です。レギュラー系やハイランド系（高糖度）共に順調な入荷が見込まれます。価格は前年よりやや高めの見込みとなっています。
イチゴ	宮城産は12月中旬から24日まで、業務用の需要期でサイズにより価格が高騰しますが、その後は前年並みに落ち着いた価格になる見込みです。栃木産は宮城産と同様の動きで順調な入荷が予想されます。
温室メロン	熊本産は12月のクリスマス前までに年内は早めに入荷が終了する見込みです。高知産は年末まで連日入荷し6玉サイズ中心の見込みです。クリスマス以降、価格はやや高めの見込みです。